



いつも新しい流れがある 市川

令和4年1月12日

報道関係者 各位

市川市 街づくり部長 川島 俊介

## 「第15回市川市景観賞」決定と表彰式の開催について

市川市景観賞は、市民や事業者による積極的な取り組みを促進するため、本市において良好な景観の形成に貢献する活動を行っている個人や団体を表彰する制度で、平成19年度より実施し、前回までに延べ60組が受賞しています。

第15回を迎える今回は、2件の受賞者が決定いたしましたので、下記の通り表彰式を執り行います。

### 記

#### 1. 日時

令和4年1月26日（水）10時00分から10時30分

#### 2. 場所

市川市役所第1庁舎5階 第3委員会室

#### 3. 内容

第15回「市川市景観賞」表彰式（2組）

##### ① 渡辺 俊司氏

〈活動内容〉 **西洋館倶楽部の管理・保全活動**

〈受賞理由〉 昭和2年に別荘建築として建てられた西洋館倶楽部は、ベイウイン

ドウ状の張出しや袴<sup>はかま</sup>腰型切妻<sup>こしがたきりづま</sup>破風<sup>はふ</sup>を中核とする屋根

構成等が特徴。建物内部は調和のとれた和洋折衷のスタイルとなっている。

建築当初の外観を保全すべく、個人負担において2度の補修工事を行うほか、平成7年からはイベントホールとして建物を開放する活動も継続しており、多方面の分野の方々が訪れる憩いの場となっている。



② ポラスガーデンヒルズ株式会社

〈活動内容〉 「<sup>た</sup>佇<sup>び</sup>美の家 市川市菅野三丁目景観協定区域」の街づくり

〈受賞理由〉 各住戸は石目調と木目調・チタンを組み合わせた素材感のあるデザインとし、寄棟屋根や高さを抑えたアクセントフレームを採用することで、限られた敷地においても圧迫感を感じさせない空間を創出している。

通り沿いに設けた花台やベンチは住民同士のコミュニケーションのきっかけとなるほか、外灯が自動点灯する「灯かりのいえなみ協定」の締結により、街の防犯性向上だけでなく、良好な街並みの形成に寄与している。



以上

(問い合わせ) 街づくり部 街づくり計画課長 中原 基貴  
TEL 047-712-6323